

進路だより



いちがんとって
目標の進路達成

入試本番に向けて今からやるべきこと

三者懇談会を経て、考えて、悩んだ末に、ひとりひとりの進路希望が決定しました。

1. まずは合格までの距離を知ろう！

志望校が決まったら「現在の自分の位置から合格までの距離」がわかります。合格から逆算して学習計画を立ててみましょう。（公立高校前期選抜で作文や小論文の検査がある人は、その準備もしっかりと！）迷わず勉強に取り組むことができますよ。

2. 限られた時間を有効活用しよう！

入試本番までの限られた時間の中で何ができるのかを考えてみましょう。ここからの勉強方法によって合否が分かれると言っても過言ではありません。高校受験は、校外模試とは違い、同じ高校に挑戦する受験（検）生たちの学力に大きな差はありません。「合格点の前後30点ぐらいに、全受験生の7割以上が集まる」と言われます。それだけに「1点を確実に積みあげていく」ことが、受験（検）ではとても大切になるのです。

3. 過去問は5年分を繰り返そう！

入試の本番形式になれるためにうってつけなのが過去問（過去の問題集）です。なるべく静かな環境で、机の上に問題、解答用紙、筆記用具だけを置くなど本番の環境を想定しましょう。時間を計って解くことで、本番の時間の使い方がわかるようになりますよ。過去問は5年分を繰り返して解くことがお薦めです。入試傾向を把握できるようになります。

4. 高校ごとの入試傾向を知ろう！

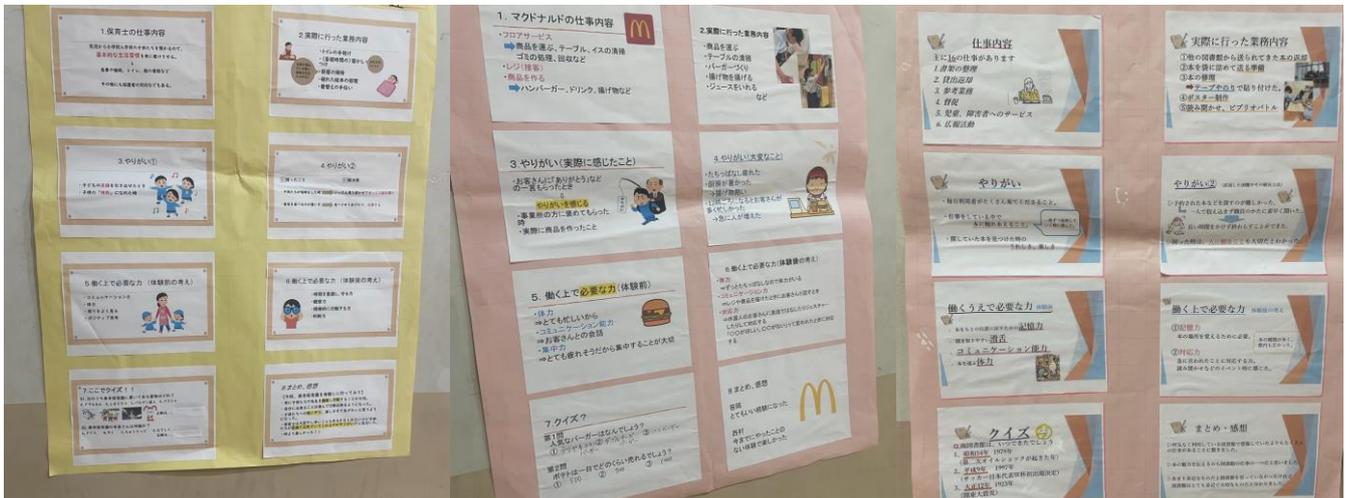
高校によって（私学か、専門学科か）入試の出題傾向は異なります。入試傾向を把握し、出題率の高い問題を徹底して対策することで本番での得点力を上げることができます。

5. 体と心の管理（コントロール）をしっかりと！

受験（検）に向けた準備として、体調管理も大切です。ましてやこの冬はインフルエンザやコロナウィルスの感染にも気をつける必要があります。受験（検）もスポーツの試合も「本番」で力を出し切らねばなりません。そのために勉強や練習を積み重ねるのですが、それと同じくらい「体調管理」も大切です。体調管理を侮っていると、「大事な当日に風邪をひいてしまった」などということが起こりかねません。「受験（検）生の体調管理」とは、自分の心や体を常に万全に保つことです。病気だけでなく、「やる気が出ない」とか「疲れがたまってしまうてだるい」という状態では、勉強にしっかり取り組むことができません。最高のコンディションで「大事な日」を迎えるためには、気持ちのコントロールが必要です。「自分がしんどい時は周りもしんどい。」だからこそ、思いやりや助け合いが大切です。

2年生 ポスターセッション発表会

学校ホームページや学年通信でもその様子は伝えられていますが、進路だよりでも2年生のポスターセッションについて記事を書きようと思います。ポスターには、チャレンジ体験学習で学んだことが項目別にまとめられていました。



各事業所の仕事内容、自分たちが行った仕事内容、やりがい、そこで働く上で必要な力、事業所の仕事内容に関するクイズ、まとめ・感想という構成で、見やすく分かりやすくなるような工夫がさまざまなか所に見られました。とくにやりがいの部分では、「立ちっぱなしで疲れる」「予約された本などを探るのが疲れる」など、正直に言って大変なところと、「仕事の合間でのささいな会話が楽しかった」「仕事をしていくうちに、効率の良さが上がったり、達成感を得られたりするようになった」といった仕事で得られる喜びも伝えてくれました。



先日の3年生のポスターセッションを含めて、3年間の一連のキャリア学習の流れが少しずつ私自身にも見えてきました。将来、理想の環境で好きなことをして働くことができるように、大切なことは何なのか、その一つがこれからの進路選択、そして一番近くにある中学卒業後の進路選択であると考えることができました。司会進行役、発表者の2年生、集中して聴いていた1年生(来年に発表会を控えていますね)、よく頑張りました。事業先の方々は、お忙しいところ来ていただき、興味深く発表を聴いてくださいました。有難いことです。1年生も2年生も、次のステージが見えてきていますね。ファイト！